

計画された偶発性理論

(英語: Planned Happenstance Theory)

スタンフォード大学の John D. Krumboltz 教授が提案したキャリア論に関する考え方。

- ①個人のキャリアは、予期しない偶然の出来事によってその8割が形成される
- ②その偶然の出来事を、当人の主体性や努力によって最大限に活用し、
キャリアを歩む力に発展させることができる
- ③偶然の出来事をただ待つのではなく、それを意図的に生み出すように積極的に行動し、
自分の周りに起きていることに心を研ぎ澄ませることで、自らのキャリアを創造する
機会を増やすことができる

その計画された偶発性は以下の行動特性を持っている人に起こりやすいと考えられる。

- 1. 好奇心[Curiosity]
- 2. 持続性[Persistence]
- 3. 柔軟性[Flexibility]
- 4. 楽観性[Optimism]
- 5. 冒険心[Risk Taking]

GLBC caravan Toranomom

において出された課題の一つ

※GLBC キャラバンとは？

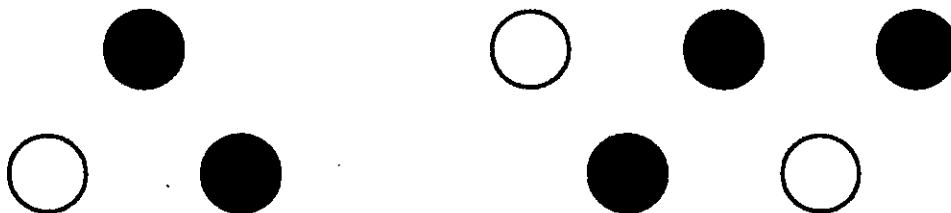
サレジオ学院では「正解の無い問題に取り組み、解決していく力を養う」ため、中学3年生から高校2年生を対象に《未来塾》を開催しているが、その講師を勤めてくださる中鉢氏が高校生を対象として主催する学外の研修会。毎回《未来塾》から精鋭？が参加している。

課題

- ①オセロの駒が8枚ある。うち3枚は白、5枚は黒の状態である。
- ②この8枚を2つのグループに分ける。(2つのグループの枚数・色の配分は自由)
- ③目隠しをした状態で任意の駒を裏返し、2つのグループの白の数を合わせる。
- ④正解への道すじ(理論)を第三者に理解できるように正確に伝える。

※大切なのは正解を出すことよりも、その理論を正確に伝えること

グルーピングの例



正解が分かった人→④を友達に実践してみて「分かりやすかった」といわれたら合格です！